

挑戦！まつだマイスター検定

重点事業など

子育て支援

●不妊症・不育症治療費助成金 395万円

一般不妊・特定不妊および不育症の治療を受けているご夫婦の経済的な負担の軽減を図るため、各治療の保険外診療に係る費用の一部を助成します。

●児童手当事業 1億3050万円

次代の社会を担う児童の健やかな成長を社会全体で応援するために、中学校修了前までの児童を養育している方に児童手当を給付します。

福祉

●感染症予防事業 3658万円

予防接種法に基づいた定期接種の実施に加え、小中学生のインフルエンザワクチン任意接種費用の一部を助成します。

●健康増進事業・老人クラブ運営補助事業 1041万円

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、町では見守りサービスの充実、外出支援を行う事業者への支援のほか、シニアクラブ松田の活動を支援します。

●再生可能エネルギー利用促進事業 568万円

住宅用太陽光発電システムやHEMSの設置、家庭用給湯システム、電気自動車の購入などに対する補助を実施します。また、再生可能エネルギー協議会の運営、地球温暖化対策実行計画の更新など、再生可能エネルギーの利用を促進するための事業を実施します。

教育

●学校－ICT推進事業 1761万円

国のGIGAスクール構想により全児童生徒に1人1台配備されているタブレット端末ほか機器の維持管理経費や授業を効果的にサポートする支援員の配置に係る経費です。

その他

●鳥獣防除対策事業 3256万円

有害鳥獣による農林業被害の防止や、自然環境の維持・保全を目的とした防除対策事業の人材確保を図るため、狩猟免許取得の際の講習料、申請手数料などへの補助を実施します。また、有害獣被害が深刻かつ多岐にわたってきている中、駆除活動の持続可能性を高めるため、ジビエ利用促進に向けたジビエ加工施設整備に係る経費を計上しています。

●環境美化推進事業 236万円

市街化区域内側溝清掃やクリーンキャンペーンなど、町内の環境美化の推進に係る事業の実施に加え、町内各地に花壇やプランターを増設し、四季折々の花で街なかを彩る事業を実施します。

鼓動～コドウ～

“町の未来へのトビラを拓くのは誰？”

松田町長 本山 博幸

桜花爛漫の好季を迎えた。町民の皆さまにおかれましては、お健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウィルスの影響により、今なお住民の生命を脅かし、生活にも自肃などが続いている状況の中、“自らが未来へのトビラ”を拓き、進学や就職など新たな可能性を信じ、未来へ飛び立つ全ての皆さまにエールを贈ります。

さて松田町3月議会において、町の“未来を拓くトビラ”である事業として、7年前に私が町長に就任後、駅利用者の交通事故の危険性排除と利便性の向上を図つてほしいという願いを叶えるため、今日に至るまで、常に議会承認を受け関係する皆さまと丁寧に進めてきた新松田駅周辺整備事業を本格化させるための予算を議会に提案しました。しかし、町議会は“時期尚早である”ということを理由にその予算を削除したため“未来へのトビラが閉ざされました”。

この事業は“町の未来予想図”である“第6次総合計画”的策定にあたり、約3年前に町民の皆さまからいただいたアンケートなどでも上位で、10年前に策定した第5次総合計画においても、多くの希望があり、議会が決定した総合計画の中でも最も重要な事業であることは承知されています。本事業には町民の皆さまの積年の想いを確実にカタチにするため、

現在事業がストップしている駅南口整備と同様の事業手法を取らず、駅北口整備に關係する地権者の皆さまや公共交通機関などの企業さま、国や県の担当部局の皆さまなどとの協議や計画策定に関する予算を約5年間、毎年、議会による予算議決を仰ぎながら丁寧に時間をかけ進めてまいりました。

また、現在に至るまでには、大きな責任と期待を背負い、多くの時間と費用を関係の構築を重ねてまいりましたが、ご期待に添える結果に至らず、これまでご尽力くださいました関係者の皆さまにご心配をかける残念な結果となりました。

新松田駅周辺整備事業は、県西地域の北の玄関口として整備を行なうことはもちろん、松田町民だけでなく、このエリアに住む皆さまの積年の願い・夢でもあります。今後は、今までご尽力くださった関係する皆さまのご理解・ご協力を無駄にしないよう丁寧な対応を行い、一度失った信頼を取り戻すには、時間がかかりますが、松田町の“未来へのトビラを拓く”準備を再度構築してまいります。

実際に夢を叶えるために“未来へのトビラを拓く”のは、“自信と勇氣”を持つた“町の皆さま”だと思います。本事業に対し、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願ひいたします。